

令和元年度 農業農村整備事業 再評価調査

事業名	広域営農団地農道整備事業	地区名	あなんにゆうだに 阿南丹生谷2期 地区
事業主体	徳島県	関係市町村	阿南市、那賀町
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は、徳島県東南部に位置し、南西から北東に流れる那賀川とその支流の桑野川及び福井川沿いの緑豊かな山々に囲まれた中山間農業地域であり、果樹、野菜、畜産の生産団地を形成している。しかしながら、地域内の既設道路は、農業生産の中心である中山間地の農地を結ぶ幹線道路がなく、生産農家は農産物の運搬や通作等に多大な労力を要していることから、基幹農道となる広域農道の整備により農業輸送の経費節減や通作時間の短縮を図ることを目的とする。また、併せて農村の生活環境の改善を図る。</p> <p>(事業内容)</p> <p>受益面積 1, 786ha 受益戸数 2, 203戸 主要工事 農道工 270m 全幅員 7.0m(車道幅員5.5m) 総事業費 2,473,826千円(国50%:県40%:市・町10%) 工期 平成22年度～令和3年度</p>		
	評価項目	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>当地区は、那賀川を渡河する橋梁区間であり、調査設計や河川協議に時間を要したことや、非出水期(11月～5月)での施工となり工期的な制約があることなどから、長工期化を余儀なくされているが、橋梁上部工の完成を来年度に予定しており、令和3年度の完成に向け着実な進捗を図っている。</p> <p>令和元年度末までの進捗率は事業費ベースで79%となっている。</p>	
<p>(関連事業の進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農免農道 元信地区 完了 ・団体営農道 南川地区 完了 			
<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>本地域では、農業従事者の高齢化と農業後継者の不足により営農状況は厳しくなっているため、広域農道の整備により、輸送体系の合理化による輸送労力の節減及び営農労力の節減を図ることが重要になってきている。</p> <p>また近年頻発する水害に備えるため、幹線道路の複線化が可能となる本事業の必要性が高まっている。</p>			
<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>特になし。</p>			
事業効果	<p>(事業効果の発現状況)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 供用開始区間においては、農産物や生産資材の輸送時間が短縮され、農業経営の効率化が図られている。 2 ほ場・農協等への往復時間が短縮され、農産物や資材等の運搬が容易となっている。 3 災害等緊急時の幹線道路の複線化が可能になるとともに、農村環境の改善にも寄与している。 4 総費用総便益比=総便益/総費用=1.21 		
	<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>関係市町、地元受益農家から、早期完成を強く要望されている。</p>		
	<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>		